

事業所名

Space Kids 沖縄 (第3教室・さんご)

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

1日

法人(事業所)理念		・スペースキッズ沖縄の理念は、子どもたちから「その日、いち日、僕は、私は幸せだったよ」との言葉をもらうことを目標とし、児童と保護者の「願いと希望」の実現に向けて職員一丸となって取り組むことです。						
支援方針		・木造2階建ての1階にさんご教室を配置、未就学～小学4年生が在籍している。児童は通常学級、通級、支援学級、支援学校までインクルーシブ的に利用してもらっている。またバリアフリー構造の安全性の高さから肢体不自由児、脳性麻痺児の療育活動も担っている。ひとり一人に寄り添いながら「個別支援計画書」に沿って、成長のサポートにベストを尽くします。 【さんご～さあやってみよう!の気持ちを育てる・ん?どうしたかな?と気持ちに寄り添う・ご家族とともに成長を喜び合う】 ・安心安全:信頼できる環境づくり/愛情:個性を尊重し、温かく支える/才能:得意を伸ばし、挑戦を応援/多様性:違いを認め、共に学ぶ/頑張る:努力を認め、挑戦を後押し ・我慢:社会性と乗り越える力を育む/学び:興味を引き出し、学ぶ習慣を支援/思いやり:助け合い、感謝を伝える/応援:子どもも保護者も共に支える *さんご教室は、すべての人の成長を応援します。						
営業時間		10時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	*目的: 基本的な生活習慣を身につけ、自己管理能力を育む。 ・食事・栄養管理: 食具の使い方、食事マナー、偏食改善 ・排泄の自立: トイレトレーニング、衣服の上げ下げ、手洗い習慣 ・衣服の着脱・身だしなみ: 衣服選び、ボタンやファスナー練習 ・清潔習慣: 手洗い・うがい、歯磨き指導、身だしなみ習慣化 ◆ 支援のまとめ: 生活の自立を促し、健康で快適な日常を送れるよう支援する。						
	運動・感覚	*目的: 基本的な運動能力や感覚統合の発達を促す。 ・粗大運動: バランス遊び、ジャンプ運動、障害物競走 ・微細運動: 折り紙、粘土遊び、ハサミのりを使った作業 ・感覚統合: 触覚・視覚・聴覚刺激、リズム遊び ・姿勢・体幹強化: バランスボール、スクーターボード活用 ◆ 支援のまとめ: 運動能力と感覚統合を高め、体の動かし方をスムーズにする。						
	認知・行動	*目的: 思考力や判断力を伸ばし、適切な行動を習慣化する。 ・記憶・注意力向上: 神経衰弱、マッチングゲーム ・ルール理解: すごろく、カードゲーム、順番を守る遊び ・感情コントロール: 表情カード、深呼吸、ストレス対処法 ・問題解決能力育成: 「もし~だったら?」の思考トレーニング ◆ 支援のまとめ: 状況を理解し適切な判断ができるように支援する。						
	言語コミュニケーション	*目的: 言葉の理解と適切な表現力を育てる。 ・語彙力強化: 絵カード、擬音語・擬態語の活用 ・文章の組み立て: 順序を意識した言葉の練習、質問応答 ・会話のキャッチボール: あいさつ練習、絵本の要約 ・集団でのやり取り: ごっこ遊び、順番を守る練習 ◆ 支援のまとめ: 言葉の発達を促し、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようにする。						
	人間関係社会性	*目的: 他者との関わり方を学び、集団生活に適応する力をつける。 ・友達との関係構築: 名前を呼び合う、良いところ探し ・協力する体験: 2人1組の協力遊び、共同制作 ・ルールのある遊び: 椅子取りゲーム、仲間外れ防止の遊び ◆ 支援のまとめ: 人間関係を円滑にし、集団の中で適応できる力を養う。						
家族支援	保護者の育児相談、きょうだい児の負担軽減支援を実施。さらに、学校・福祉サービス・相談機関と連携し、家庭と地域全体で子どもの成長を支えます。 ・保護者向け相談: 子どもの発達や学習、生活面のアドバイス ・進学・支援環境の検討: 学校・支援機関との連携 ・家庭でのサポート方法の共有: 子どもの成長に合わせた接し方 ・子どもが安心して次のステップへ進めるよう、家族とともに支援を行います。	移行支援	*移行支援は、入園・入学・進級後の生活がスムーズに進むようサポートします。 ■環境の変化に向けた準備 ・幼稚園・保育園から小学校への移行を支援 ・小学校低学年の学校生活への適応サポート ■生活・学習支援 ・時間管理の習慣づけ ・通園・通学の自立サポート ・基礎学習の定着 ■社会性の向上 ・集団生活への適応練習 ・公共施設の利用体験 ■保護者・学校との連携をします。 ・進学や支援環境の検討 ・子どもの発達状況に応じた支援をします。 ◆ 安心して次のステップへ進めるよう、一人ひとりに合ったサポートを提供します。					
地域支援・地域連携	*子どもの社会参加を促し、地域全体で支える仕組みを構築します。 ・学校・福祉・医療機関と連携し、学習・生活・発達支援を強化します。 ・地域交流を通じ、イベント参加や公共施設での体験活動を実施します。 ・防災・安全対策として避難訓練や安全マップ作成を推進します。 ・地域資源の活用で移動支援や就労支援につなげます。 ・地域と協力し、子どもの自立と社会参加を支援します。		職員の質の向上	*職員の専門性を高め、質の高い支援を提供するための取り組みを実施します。 ・研修・勉強会: 障害特性、支援技法、法改正対応の研修を定期開催する。 ・OJT・実践指導: 児発管による実践指導、ケースカンファレンスの実施。 ・評価・フィードバック: 代表による定期的な面談や業務評価でスキルアップ支援をします。 ・チーム連携強化: 職員間の情報共有を促進し、支援の質を均一化。 ・外部機関との連携: 専門家の講師招聘、他施設との交流研修を実施。 ・職員の成長を支え、より質の高い支援を提供できる体制を構築します。				
主な行事等	■社内研修 (年9回) ・「救急対応」「障害者虐待防止」「コンプライアンス・BCP」「5領域」「遊び」など、基礎から実践まで段階的に実施します。 ・社内大会 (7月・1月) *会社全体の半年間の取り組みを、各事業部ごとに発表します。 ・避難訓練 (年4回) ・部分訓練 (6月・12月)、総合訓練 (9月・3月) で実施します。 ・消防・避難器具点検 (5月・10月) ・ケース会議 (年4回) 4月・7月・10月・1月に開催します。 ■保護者会・自己評価 ・保護者会 (5月・11月) ・自己評価 (2月実施、4月公表) ・地域清掃 (年3回) 5月 (北名城ビーチ)、6月 (平和祈念公園・自治会連携)、11月 (親水公園) ■イベント ・夏祭り (8月)、名城ミニミニ文化祭出店 (11月)、年末お楽しみ会 (12月) ・次年度計画 (3月) *職員・保護者の意見を反映して作成します。							